

災害に備えましょう

7月は、大雨による甚大な被害が発生しました。梅雨明けとともに、これから本格的な台風シーズンを迎えます。災害から身を守るためには、日ごろからの備えが大切です。自身や家族を守るために、あらためて風水害へ備えましょう。

■地域の危険性を知る

▷防災マップを確認

自宅や職場が浸水想定区域など色の塗られている場所であるか確認しましょう。

▷災害の恐れのある場所の確認

防災マップで色が塗られていない場所であっても、周りとは比べて土地が低い場所や河川付近など地域の特性を知り、災害の恐れのある場所を確認しておきましょう。

■非常用持ち出し品の準備

いつでも避難できるように、各家庭の実情に合わせた非常用持ち出し品を準備し、定期的に点検をしましょう。

非常用持ち出し品の例

携帯ラジオ  <input type="checkbox"/> ラジオ <input type="checkbox"/> 電池(多めに用意)	救急医療品  <input type="checkbox"/> 持病薬 <input type="checkbox"/> 絆創膏 <input type="checkbox"/> 傷薬 <input type="checkbox"/> 包帯 <input type="checkbox"/> 風邪薬 <input type="checkbox"/> 胃腸薬 <input type="checkbox"/> 鎮痛剤	貴重品  <input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> 印鑑 <input type="checkbox"/> 健康保険証 <input type="checkbox"/> 預金通帳 <input type="checkbox"/> 免許証 <input type="checkbox"/> 権利証書	懐中電灯  <input type="checkbox"/> 懐中電灯(出来れば一人にひとつ) <input type="checkbox"/> 電池(多めに用意)
非常食品  <input type="checkbox"/> カンパン <input type="checkbox"/> 非常用食品 <input type="checkbox"/> 缶切り <input type="checkbox"/> 紙皿 <input type="checkbox"/> 水筒 <input type="checkbox"/> 缶詰 <input type="checkbox"/> ミネラルウォーター <input type="checkbox"/> 栓抜き <input type="checkbox"/> 紙コップ <input type="checkbox"/> 箸等		その他  <input type="checkbox"/> 衣類(下着・上着など) <input type="checkbox"/> 生理用品 <input type="checkbox"/> 離乳食 <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ <input type="checkbox"/> ヘルメット <input type="checkbox"/> ラップフィルム <input type="checkbox"/> 防寒具(時季による) <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> 粉ミルク <input type="checkbox"/> 紙おむつ <input type="checkbox"/> 雨具 <input type="checkbox"/> ライター <input type="checkbox"/> 防災マップ(本書)	

■感染症対策を踏まえた避難時のポイント

- ▷避難とは「難」を「避」けることです。安全な場所にいる人まで避難所に行く必要はありません。
- ▷新型コロナウイルス感染症の影響も考え、安全な場所にある親戚や知人宅に避難することも考えてみましょう。
- ▷避難所での感染症対策のため、マスクや消毒液などの衛生用品はできるだけ持参するように心掛けましょう。
- ▷浸水被害の場合、無理に屋外へ避難するよりも建物の2階へ移動するほうが安全な場合もあります。また、がけ崩れなどが心配される場合は、がけから離れた部屋へ避難する方法もあります。避難が遅れた場合、建物の中で身を守る方法も考えてみましょう。
- ▷夜間の避難も危険です。災害が発生する恐れのある場合は、明るい時間帯での避難を心掛けましょう。

■問い合わせ先…総務課 ☎46-5540



【TOWN TOPICS】まちの旬な話題

6月29日はケロ平の誕生日

ケロ平よりウェットティッシュの寄贈

「平泉世界遺産の日」の6月29日、世界遺産平泉PRキャラクターのケロ平が町役場を訪れ、新型コロナウイルス感染予防対策に役立ててほしいと、ウェットティッシュ629個を町に寄贈されました。この日、誕生日を迎えたケロ平は「来年は世界遺産に登録されて10周年、一緒に盛り上げていこうケロ」と来年への意気込みを語り、青木町長は「今年の登録記念イベントは中止となったが10周年に向けてエネルギーを蓄えていく」と決意を述べました。



交通事故防止に向けて

交通指導隊に新たに3人を委嘱

町は、7月1日から新たに阿部富士夫さん(13区)、宮田沙也佳さん(7区)、本間真悠さん(11区)の3人を交通指導員に委嘱し、3日に委嘱状を交付しました。

任期はいずれも2022年3月末までで、園児や児童を対象とした交通安全教室や町の催しなどに出動し、交通指導や交通安全の普及啓発活動に取り組みます。

すでに交通指導員を委嘱している6人に加え、交通指導員は9人体制となりました。

教育現場に役立ててほしい

町内企業によるスピーカー内蔵マイク寄贈

7月15日に町内の建設会社、菅原組(7区)の菅原清志代表取締役と朝田建設(11区)の朝田豪代表取締役社長が町役場を訪れ、新型コロナウイルスの影響が懸念される教育現場で役立ててほしいとスピーカー内蔵型マイク5本を寄贈されました。

青木町長は「コロナ対応の授業などで活用できるので大変助かります」と感謝を述べました。寄贈されたマイクは、小中学校と保育所、幼稚園にそれぞれ配布し活用します。



地域の自然を歩く触れる

ひらいずみネイチャーウォーキング

7月18日、西行桜の森にある木工芸館「遊ぼう」を発着点として、豊かな自然の中で草木を観察しながら歩く「ひらいずみネイチャーウォーキング」を開催しました。

当日は小雨が降る中、25人の参加者がウォーキングトレイルガイドの案内で約3*のルートで散策しました。

今回のルートは、世界農業遺産の認定に向けて取り組んでいる地域で、参加者は見頃を迎えたあじさいが並ぶ「あじさい周廻ロード」など地域の自然を楽しみました。